

各 位

2020年11月25日

フィンテック グローバル株式会社
フィンテックアセットマネジメント株式会社

国土交通省「不動産特定共同事業（FTK）等の不動産証券化手法による公的不動産（PRE）の活用に向けたモデル事業」の参画事業者への選定に関するお知らせ

フィンテック グローバル株式会社の100%子会社であるフィンテックアセットマネジメント株式会社（以下、「FAM」という。）は、国土交通省が行う「不動産特定共同事業（FTK）等の不動産証券化手法による公的不動産（PRE）の活用に向けたモデル事業」（以下、「モデル事業」という。）に、参画事業者（募集対象：不動産特定共同事業者）として応募、選定され、和歌山市とマッチングされましたので、お知らせいたします。

1. 選定、マッチングの経緯

(1) モデル事業の参画事業者への選定について

地域において低未利用となっている公的不動産（PRE）等の活用について、近年、石川県小松市、山形県鶴岡市等において、駅前の空き地の活用や交通施設・宿泊施設の改修などについて、不動産特定共同事業（FTK）を活用して地元投資等を集める手法により実現する例が出てきております。

国土交通省では、地方公共団体において、これまでの手法では活用が困難であった公的不動産（PRE）を含む土地・施設等の利活用・再生について、不動産特定共同事業方式をはじめとした不動産証券化手法による活用の検討を促進するため、不動産特定共同事業のノウハウを持つ事業者とのマッチングを図ることを目的として、地方における不動産証券化案件の事業化を目指す事業者を募集しておりました。

当社グループは、不動産特定共同事業法における特例事業スキームを用いた不動産証券化案件の実績があり、地方公共団体への会計・財務コンサルティングや、地方創生事業への寄与も多数実績として有しております。FAMは不動産特定共同事業の第3号・第4号事業者として許可を受けており不動産証券化案件を推進していることから、モデル事業の参画事業者に応募しておりましたが、今般、国土交通省等より選定され、モデル事業への参加を希望された和歌山市とのマッチングを受ける運びとなりました。

(2) 和歌山市とのマッチングについて

和歌山市では、今後、地元資金を活用しつつ、同市等が保有する和歌山市民会館、JR和歌山駅東口駅前広場等での官民連携事業の検討に当たり、不動産特定共同事業等の不動産証券化手法の活用を検討しており、FAMとのマッチングが図られました。

2. 今後について

和歌山市の事業計画はこれから検討していく段階であり、今後、具体的な支援内容を協議して参りますが、当社グループの地方における不動産証券化の実績とノウハウ等を活用し、地域住民の日々の生活に欠かせない重要な施設の維持や再整備等を推進することで、地域活性化に貢献していく所存です。

以 上

【本プレスリリースに関するお問合せ先】フィンテック グローバル(株) 事業統括部
ウェブサイト：<http://www.fgi.co.jp/> の「お問い合わせ」フォーム
電話： 03-6456-4600